



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会
 会長 中村孝也
 仙台市青葉区錦町1-3-9
 （市役所錦町庁舎3F）
 電話 022-224-2581
 FAX 022-302-3406

70周年記念日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台

開催まであと80日余り！

大会開催まであと80日余りとなりました。72年前、広島に投下された原子爆弾の威力が、これを用いる人類の意思如何によっては世界の永遠の破滅という恐ろしい現実と直面し、世界の有為ある人々たちによってUNESCOが国連で結成されました。この教育・科学・文化による世界の恒久平和の地固めに乗り出した歴史的背景の中、仙台市民による民間ユネスコ運動が生まれ、この70周年はまさにターニングポイントの新たなステージであります。会員一同一丸となって本大会がユネスコ運動の普遍的な価値を顧み後世に引き継ぐ大会となることを願い企画実行して参りました。

本大会の概要を簡単に紹介しますと、記念特別講演はノーベル平和賞受賞のパチャウリ博士をお招きし、気候変動や環境エネルギー問題など幅広く研究されている立場から、地球規模の未来予測や課題、諸問題などについて、貴重なお話があります。また記念イベントとして「地球のステージ」で話題の医師桑山紀彦先生による講演・映像そして演奏があります。難民キャンプの医療支援活動や被災者の診療など献身的活動と心を癒す音楽・メッセージに感動されるでしょう。

ユネスコ活動として、まずユネスコ青年部からは彼ら



大会実行委員長
千葉雅保



の世代で抱える課題や夢についての検討発表を行います。更にユネスコスクールの高校生と県内の留学生とのディスカッションではユネスコ憲章の意義や現代における平和の捉え方、持続可能な社会の構築について語り合います。そして結びとして「青年による仙台宣言」を行います。また地元からは「ESD・地球の平和を守ろう」をテーマに、自然環境・防災・伝統遺産・人権平和などで先駆的に活躍されている代表の方々によるパネルディスカッションを行い、最後に「民間ユネスコ運動70周年ビジョン」の発表を行います。

その他沢山の催事やアトラクション・エクスカージョンを予定しておりますので、是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

これからの行事と催事

2017年度 第74回通常総会

- 日時：2017年5月19日（金）10時開会
- 場所：仙台市役所錦町庁舎 3F 会議室
（青葉区錦町1丁目3-9）
- 内容：1. 2016年度 事業報告書
2. 2016年度 決算財務諸表
3. 2016年度 監査報告
4. 定款の一部改正案
5. 理事・監事候補者名簿
6. 2016年度 事業計画及び予算



全国大会近づく！！

- 日時：2017年7月15日（土）12時45分～
7月16日（日）～12時15分
- 場所：仙台国際センター

仙台ユネスコ協会の70周年であり、日本の、そして世界の民間ユネスコ運動の70周年記念大会です。皆様の参加をお願いします。

第3回宮城ユネスコ子どもキャンプ

- 日時：2017年8月11日（金）～13日（日） 2泊3日
- 場所：オーエンス泉岳自然ふれあい館
- 募集対象：宮城県内小学4年～中学3年 50名
- 内容：キャンプファイヤー、野外炊飯、ウォークラリー、交流ゲーム他

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年（昭和22年）7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。

ユネスコ会館跡地に「記念碑」設置

昨年、惜しまれつつ解体されたユネスコ会館跡地は、現在仙台市によって整地が進められています。ビニールシートに覆われた現場では、あの3階建ての会館が次第に形を失っていく様子が窺え、寂寥と喪失感でいっぱいでした。59年間仙台ユネスコ活動のセンターであった会館の存在の偉大さを、失うことで再認識させられたとも言えます。

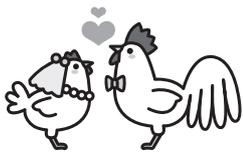
会館跡地には仙台市のご厚意でユネスコ会館の顕彰碑が建てられることになりました。石碑の素材は桜御影石で、碑文には会館の由来と英訳文、そして在りし日のユネスコ会館の写真を入れることにしました。英訳は青年部の野田千暁さんが担当し、翻訳家の橋本あつ子さんから助言を頂きました。また写真はフリーライターの西大立目祥子さんから提供頂きました。

会館跡地は、整地・植栽の作業が現在進行中で、7月（全国大会開催直前）には、「記念碑」と共に小公園として市民に開放される予定です。（加藤幸子 記）



碑文の結びは—

仙台のみならず、東北地方の民間ユネスコ運動の中心として重要な役割を果たしてきた仙台ユネスコ会館だった。2011年の東日本大震災に加え、老朽化のため約60年の役目を終え、2016年に解体された。



1～3月の活動実績



国際交流事業・地域遺産（七夕）交流会報告

2017/2/21 国際交流会館

国際親善ボランティアグループ・レディバードの国際理解を深める合流事業に参加させていただいたの交流会でした。

在仙留学生とその家族との交流会、6カ国の母親9名と子ども13名（マレーシア8名、中国7名、コンゴ1名、バングラデシュ3名、韓国1名、ナイジェリア2名）、レディバード6名、仙台ユネスコ協会7名の計35名参加で楽しい交流会になりました。

留学生の家族と楽しい交流の出会いの中で、日本語を一生懸命勉強する姿にお互いの理解に繋がることを願います。（川村洋子 記）

■プログラム（14:00～16:00）

- ☆自己紹介
- ☆防災マニュアルの説明（仙台国際防災会議資料）
留学生と家族の方々に地震が起きた時に対応する母国語での資料を渡す。
- ☆折り鶴作り
日本ユネスコ運動 全国大会 in 仙台においてエスパルで開催の七夕飾りに飾る折り鶴作り。
- ☆仙ユ役員奥村さんの指導で日本の童謡を合唱
- ☆交流会は子ども達の成長を願って桃の節句を祝いさくら餅を食べて解散。



ユネスコスクールプレートの贈呈

2017/3/5
仙台市立郡山中学校・宮城県多賀城高校



ユネスコスクールプレートの贈呈は3月5日に2校（仙台市立郡山中学校、宮城県多賀城高校）でそれぞれ中村会長から校長に贈呈しました。（写真は宮城県多賀城高校）

ユネスコ 子ども絵画展 第19回「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」

2017/2/14~17
東北電力グリーンプラザ・アクアホール



2月14日～17日の間、東北電力グリーンプラザ・アクアホールにおいて、第19回「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」をテーマとした応募作品が展示されました。小・中学生が対象で、地域の文化財や身近な自然環境のすばらしさを見つめ直し、それらを未来へと引き継いでいく気持ちを育てることを目的とし、2月18日には仙台ユネスコ協会事務所において、表彰式が行われました。

■絵画展を終えて——子ども達が、地域や身の周りのたからものに気づき、大切にしようとするその気持ちや、正しく素直に物事を見つめる眼と感性が、何より「たからもの」です。今年、絵とメッセージをスライドショーにし、放映しました。その放映を見られて、「ハッ」とさせられた方も、少なからずいらっしゃるのではないのでしょうか。

私達は、地域の人々や物事と共に、生き活きとした、その経験や思いを糧に、成長しているのだ、と子供たちの絵は教えてくれているようです。そう、そして、私も、子どもだった事を思い出しました。

折鶴のコーナーでは、「しばらくぶりで鶴を折ってみて、忘れていなくてよかった」と安心なさった年配の女性がおられました。

絵画展準備から終了まで役員のみならず会員の方々を含め沢山の善意・ご協力を頂いたことを感謝と共にご報告いたします。世界の平和と申しますが、個々人が、それぞれ心の中を平和に守る知恵を文化に見出す事ができるとも言えるでしょう。それが民間ユネスコ運動の方法の一つであるような気がいたします。そして、そこにこそ、ユネスコ子ども絵画展の本意があると思います。感謝。（絵画展担当 佐浦公美 記）

開催概要

- 子ども絵画展 ● 折鶴・折り紙コーナー
- 絵とメッセージのスライドショー放映
- 会期中入場者数：1511名 ■ 受賞者：31名
- 絵画展準備・運営人数：延べ65名（役員・会員）



第19回 入賞者一覧

宮城県知事賞 (小学の部)	長町小 ④	菅野燈守	東日本放送賞	宮城野小 ①	田村凜華
宮城県知事賞 (中学の部)	北仙台中 ③	京 那粋	エフエム仙台賞	高森小 ④	田中理子
宮城県教育委員会 教育長賞(小学の部)	上野小 ②	大槻ひな	JR東日本総合 サービス(株)賞	仙台百百合 学園中③	高山芽吹
宮城県教育委員会 教育長賞(中学の部)	東華中 ②	水戸華凜	三菱鉛筆 東北販売(株)賞	七北田小 ③	若生壮多
仙台市長賞 (小学の部)	長町小 ⑤	松尾佑美	日本ユネスコ協会 連盟会長賞	金剛沢小 6	佐藤 紡
仙台市長賞 (中学の部)	七北田中 ①	目黒紫媛	仙台ユネスコ協会 会長賞(小学の部)	柳生小 ①	立花咲七
仙台市教育委員会 教育長賞(小学の部)	上杉通小 ③	八乙女壮太	仙台ユネスコ協会 会長賞(中学の部)	人來田中 ②	鈴木麻祐子
仙台市教育委員会 教育長賞(中学の部)	第一中 ①	岡本朱里	佳作 (小学の部)①	木町通小 ④	草刈祐人
NHK 仙台放送局長賞	栗生小 ②	星子明璃	佳作 (小学の部)②	聖ウルス 学院英智小③	櫻井勇綺
読売新聞東北総局長賞	通町小 ①	佐藤良也	佳作 (小学の部)③	向陽台小 ⑤	佐藤好花
朝日新聞仙台総局長賞	上杉通小 ②	高橋菜央	佳作 (小学の部)④	長町小 ③	山田政博
毎日新聞社賞	人來田中 ②	鈴木理紗子	佳作 (中学の部)①	三条中 ③	岸 賢哉
河北新報社賞	高森小 6	スワン聖里奈	佳作 (中学の部)②	第一中 ①	大藤陽天
東北放送賞	国見小 ③	上田佳歩	佳作 (中学の部)③	愛宕中 ③	菊池 麦
仙台放送賞	上杉通小 ①	秋山真太郎	佳作 (中学の部)④	高砂中 ①	北村福美
宮城テレビ放送賞	高森小 ②	三上成美			

(丸数字は学年・敬称略)



寺子屋運動

アフガニスタン職員による 寺子屋報告会に参加して



宮城県ユネスコ連絡協議会主催の寺子屋報告会が、2016年10月22日に塩釜でもたれ、仙台ユネスコ協会から中村会長他6名が参加しました。

アフガニスタンの寺子屋学校の教師2名が報告しました。寺子屋運動は、書き損じはがきを基金に、学習機会を得難い国々の教育支援を行う活動で、仙台ユネスコ協会は毎年、積極的に応援をしています。以下は報告の内

容です。アフガニスタンでは、識字率の低い3県に寺子屋が15校置かれ、政府の学校認定の上で運営されており、生徒の7割が女性、年齢も12～20歳代にまで広がっています。

内容も識字教育のみでなく、料理、裁縫、美容師など技術教育も含んでいます。地方によっては、女性の教育機会が極めて少ない所、治安状況の悪い所もあり、教育機会が奪われていることが教師から報告されました。

最後に、寺子屋で学んだ人々の卒業後の具体的な活躍例が紹介され、アフガニスタン社会を支える大きな力になっていることに感動を覚えました。

(千田 記)

新春交流会 報告 副会長 阿部さか江

●2017年1月29日(日)
白石中央公民館 大ホール 9時～

白石ユネスコ協会・新春の集いに参加しました。大きな会場で物販をやっており、学生がお茶、コーヒーなどいれてくれました。寒かったのでとてもほっこりしました。

福島県只見町教育委員会の教育長である齋藤修一氏の講演で、演題は「学校、教育を、変革するESD」。

この結論は、学校教育の最終目的は「持続可能な地域を担う人材の育成」これ以外にはないという。

只見高校を対象に、山間僻地校で海洋教育に挑戦している、世界(グローバル)に挑戦する子供を育てる、「変革」をキーワードにしていることなど、まさにESDでした。只見町に行ってみたいと思いました。

もうひとつ、私の心に響く話がありました。青い目の人形です。大正15年日米関係悪化を懸念してアメリカのギューリック博士がスタッフになり、「世界の平和は子供から」をスローガンに掲げ、人形を日本へ贈るように呼びかけた。1927年(昭和2年)3月3日、12,793体の人形が届き、宮城県では221体が各学校へ配られた。その年10月9日、日本から市松人形を送った。1941年太平洋戦争になると、その人形を焼き捨てるように国から命ぜられ、ほとんどの人形が処分された。しかし、1978年(昭和53年)人形が見つかり話題をよんだ。金山小学校のローズマリーは全部裸でしたが、「青い目の人形を甦らせる会」を創り、人形を復元しました。ユネスコの心が出た話題でした。



青い目の人形ローズマリー

●2017年2月24日(金)
気仙沼プラザホテル 18時30分～

気仙沼ユネスコ協会・新春パーティーは、「ESD」と「コンソーシアム」の長年の間に作り上げられた、素晴らしいユネスコであることがよくわかりました。韓国から2人の方が来ていました。会長の佐藤春子さんに対して、業界、行政、地域団体、市民の方々の協力は心地よく、若者も多く来ておりました。けれども長いことやっているコーラスグループはだんだん年をとり、少なくなっているとのことでした。岡淳トリオの演奏もあり、楽しい夕べでした。最後は皆で手をつなぎ、一つの輪になり歌を歌って終わりました。

青年部だより



1月～3月までの活動報告

1月～3月は、青年部主催の事業はありません。しかし、来年度のキャンプに向けての話し合いはすでに始まっており、月に3回程度のミーティングでキャンプのテーマやプログラムが少しずつ決まっている状況です。また、来年度は仙台にて民間ユネスコ運動の全国大会が開催されます。青年部も、個別に発表の時間をいただいているので、その準備にも取り掛かっています。青年部発表の中で全国の青年部に協力を依頼しているものがあり、他地域の青年たちと連携しながら進めており、準備をとおして横のつながりがなくなっていくことを感じています。キャンプに全国大会と、手掛けることが多く、ミーティングだけでは不十分なため、各人が自主的に集まって話し合いをしたり、自宅でユネスコ活動に時間を当てたりしています。主催の事業がない期間ではありますが、来年度の事業を通して我々青年部はユネスコ活動に携わっているのだなと日々実感しております。(青年部 今村優介 記)

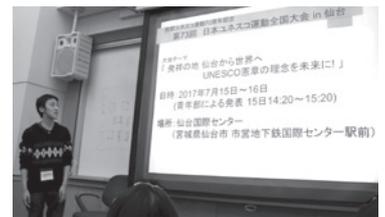
青年全国大会 1月7日～9日

東京で行われた青年全国大会に参加してきました。今回は「ユネスコパンダフル大作戦!!」というテーマで3日間、計52名の青年と交流しました。

「パンダフル」というテーマは、「パン」と「ワンダフル」を合わせたもので、パンを捏ねて作るように、ユネスコ活動をパン作りになどとて、様々な段階を踏んでから、最終的には実際に街に出て行動を起こし様々なパンを作るという内容でした。文章にしてみると「なんだこれ?」な内容だが、自分に出来ることを考え、頭だけで終わらせないで実際にアクションをする大切さを学べました。

また、仙台の全国大会における、青年プログラムの説明をする時間をいただき、全国の青年に対し各ユネスコ協会の活動の内容をまとめた動画作成への協力の依頼をすることができました。全国の青年に作成してもらった動画は全国大会で上映するので乞うご期待です。

最後は皆で青年全国大会のテーマソングを歌って「ユネスコパンダフル大作戦!!」は成功しました。(青年部 中谷祐太 記)



“11枚の書きそんじハガキでひとりかひと月学校に” ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。

書きそんじた郵便ハガキをご寄付ください。送れなかった52(50)円ハガキは1枚につき47(45)円の募金に替えることができ、11枚あつまれば、カンボジアではひとりかひと月学校に通えます。ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。



会員募集 あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体会員(一口) 年会費	20,000円
個人会員(一口) 年会費	5,000円
青年部会員(一口) 年会費	2,000円

仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	110
個人会員	194
青年部会員	15
合計	319

(2017.2.28現在)

【編集委員】

- 千葉雅保 小泉知加子 兼平敏子
- 伊達洋子 山田武彦 富田義雄
- 菅原京子 黄海富寿雄 佐藤高記
- 戸室輝信 林 健一 佐藤 信
- 早川麻由利

【編集後記】

会報「仙台ユネスコ」454号をお届けします。1月～3月の行事を掲載いたしました。今年も2月14～17日の間、東北電力グリーンプラザ・アクアホールにおいて第19回「絵で伝えよう! わたしの町のたからもの」をテーマとした応募作品が展示されました。今期中、入場者数も回を重ねるごとに増えてきています。素晴らしいですね。いよいよ大会開催まで80日あまりとなりました。ぜひ多くの皆様にご参加して下さるようお声かけの程どうぞよろしくお願ひいたします。よりよい会報にするため、編集にご意見・ご感想などは是非お寄せください。(副編集委員長 小泉知加子)